

**製品名: CYP26A1 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab09638**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	56kDa

## 抗原情報

遺伝子名	CYP26A1
別名	CYP26A1; CYP26; P450RAI1; Cytochrome P450 26A1; Cytochrome P450 retinoic acid-inactivating 1; Cytochrome P450RAI; hP450RAI; Retinoic acid 4-hydroxylase; Retinoic acid-metabolizing cytochrome
遺伝子 ID	1592.0
SwissProt ID	O43174
免疫原	抗血清はヒトシトクロム P450 26A1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

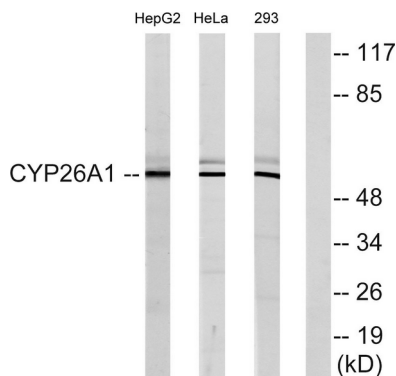
## 背景

シトクロム P450 ファミリー 26 サブファミリー A メンバー 1 (CYP26A1) Homo sapiens この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーの酵素のメンバーをコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。この小胞体タンパク質は、オールトランスレチノイン酸 (RA) を含むレチノイドに対して、4 位水酸化と 18 位水酸化の両方の活性で作用します。この酵素は、胚組織と成体組織の両方で遺伝子発現の調節に関与するレチノイン酸の細胞内レベルを制御します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、補因子: ヘムグループ、機能: レチノイン酸代謝において重要な役割を果たす。全トランス型レチノイン酸 (RA) とその立体異性体である 9-シス型 RA を含むレチノイドに作用します。4-ヒドロキシ化と 18-ヒドロキシ化の両方が可能です。4-OH-RA、4-オキソ-RA、18-OH-RA など、RA の様々なヒドロキシ化型の生成に関与します。誘導: レチノイン酸による。類似性: シトクロム P450 ファミリーに属する。組織特異性: 成人の肝臓、心臓、下垂体、副腎、胎盤、および脳の各部位に最も多く存在します。、

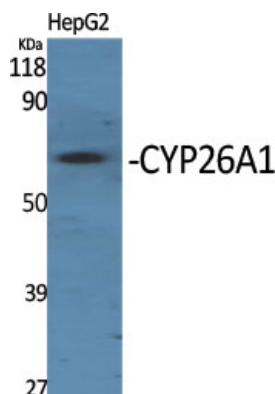
## 研究分野

レチノール代謝;

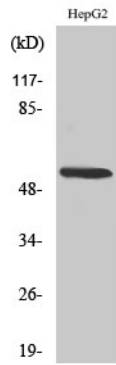
## 画像データ



シトクロム P450 26A1 抗体を用いた、HepG2 細胞、HeLa 細胞、および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



1: 1000 に希釈した CYP26A1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 1000 に希釈した CYP26A1 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析